

広報「那須」700号発行にあたって



町長
高久 勝

広報「那須」は、昭和29年11月3日の町制施行後の12月に創刊されて以来、今号をもって700号を迎えることができました。63年間、町の歩みとともに発行を重ねてきた広報「那須」は、町の発展のためにご尽力いただいた方々の足跡や偉大な功績を掲載し、私たちの生活が変わっていく様子や町のさまざまな出来事などを記してきました。創刊号から700号にいたるまで、町民のみなさんと一緒に作り上げた町の歴史書とも言えます。

また広報紙には、町民のみなさんに町政や暮らしの情報を正確にお伝えするという大切な役割があります。読みやすい文章と分かりやすい表現を心がけた紙面づくりに、なお一層努力してまいります。

情勢や環境がめまぐるしく変化しさまざまな情報があふれる時代となりました。そんな中、広報「那須」がこれからも、必要な情報を的確にお伝えし、町民のみなさんの生活に寄り添い歩み続け、ともに歴史を刻んでいく存在であることを願います。

広報モニターの声

森 隆政さん(西町)

広報那須が12月号で通算700号の大台に達するそうです。町の各種情報をコンパクトにまとめ、限られた紙面に分かりやすく表示するという方針は編集によく生かされ、毎号手に取るのが楽しみです。若い人も、話を聞くと、意外とネットだけでなく広報紙を見ているようです。

これからも町民に愛される広報紙として存続していくためには、町民をできる限り多く、何らかの形で取り上げる工夫が必要だと思います。1000号達成に向けて広報担当の方々のご奮闘を期待しています。

広報モニターとは

広報紙に対する意見や提案、町民のみなさんの身近な活動を情報提供してくれる協力者です。モニターの意見などを広報紙に反映させ、充実を図っています。広報紙の製作に興味のある方で、20才以上の町民はどなたでもなることができます。

朗読ボランティア「サークル泉」の声

朗読ボランティア「サークル泉」は、視覚に不自由のある方にも町の情報を正確に伝えるために、広報「那須」や「議会だより」などの朗読を行い、声で情報を伝える活動を行っています。結成は昭和59年5月。絵本の読み聞かせを行っていたボランティアメンバーが、他の自治体で広報紙の朗読を行っていることを知り活動を開始しました。当時はカセットテープに吹き込んでいましたが、平成16年にデジタル化され、専用のパソコンソフトを使って録音を行っています。

現在、録音図書を利用している視覚障がい者は8名。「正確な情報を必要としている視覚障がい者はもっといるのではないか」とメンバーは話します。広報紙の録音図書が必要な方は、町図書館にご相談ください。



録音図書ができるまで

①ゲラ割り 広報紙を朗読するページの割り振りをします。広報「那須」は通常5人に割り振ります。②録音 ボランティアのメンバーが割り振られたページを自宅で録音します。③編集 録音したデータを持ち寄り1つにまとめ、CDに収録します。

朗読ボランティアは自宅で作業ができます。ご協力いただける方を募集中です。あなたの声で町の情報を届けてみませんか。

■問合せ 図書館 72-5840